

(様式第7号)

## 地域の課題解決のための活動報告

・記入日：令和2年6月13日(土)

・作成者：本間義昭

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入下さい。

\*この報告書はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団 体 名	
「ときわ会」	
事 業 名	日 時 (期間) 場 所
・孤高なる。一人住まいの人達の社会参加を促し。互助の精神により共に助け合う活動。	・日時：各月第3土曜日 AM11:0「定例会」 ・会場：芦屋市保健福祉センター福祉団体室
内 容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
・各月第3土曜日：「定例会」&交流会・懇親会・お誕生日会 etc ・各種歳時行事：お花見・紅葉狩り・バレンタインデーetc ・各種行事：見学会・料理教室・日帰り&宿泊旅行 etc ・各種講習会&勉強会・メンバーの提案による各種行事・勉強会の計画・実施。	( 10 ) 人
	参加者数
	( 10 ) 人
成 果 (社会へのインパクト) どのようなよい変化を社会にもたらしたかを具体的に	
・ << 孤高なる、一人住まいの人達の社会参加を促す活動 >> ※一人住まいの世帯が。全世帯の40%を越える社会状況の中に於いて。高齢化の進展と共に、孤独死等を始めとする社会的な歪みを露呈し、大きな社会問題として顕在化して来ている。この様な社会から孤立し、孤高な生活を強いられて居る人達との人的なネットワークを構築し、社会参加を促し、互助の精神により、共に生き助け合い、豊かな時間を創造し。共に幸せを実感出来る社会を目指す活動を、芦屋市福祉協議会の等の協力を得ながら、実践している。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
※「ときわ会」の活動の基本である不本意ながら、孤立・孤高な生活を強いられて居る、一人住まいの方の社会参加を促すと共に。互助の精神により共に助け合い慈しみながら、より豊かな時間を創造し。人生を享受し共に喜びを実感出来る社会を目指し、活動を続けると共に。従来より続けてきた・福祉施設への支援等のボランティア活動・孤独死の防止・講習会等を通しての知識・教養の醸成・事故防止・回避の活動等、社会に貢献出来る活動を会員が共に力を合わせ、続けて参る所存で有ります。	